



木更津市立木更津第二中学校  
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地  
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233  
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp  
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



木二中 学校だより 令和7年7月17日  
番外編 終業式特別号 校長 山元 竜二

## 今この瞬間が君の未来をつくる 第1学期終業式 「校長先生のお話」より

第1学期終業式で校長先生がお話しした内容について、〈学校だより 番外編終業式特別号〉としてここに記しておきたいと思います。2学期を迎えた時、また、3年生たちが卒業を迎えた時に読み返せるように。

### 時間は未来から過去に流れる

このお便りの冒頭、「今この瞬間が(君の)未来をつくる」という心に響く言葉、誰の名言か知っていますか？2005年と2021年にそれぞれテレビで放映された、「バカとブスこそ東大に行け！」で有名なドラマ「ドラゴン桜」の中で、元暴走族の弁護士、桜木建二が落ちこぼれの受験生たちに発した言葉です。『今この瞬間が未来を作るんだ。一日一日を無駄に過ごすか、一分一秒にベストを尽くすか。どちらを選ぶかは、お前次第だな。』

苫米地英人(とまべち ひでと)氏の書籍、『頭のゴミ』を捨てれば、脳は一瞬で目覚める」の中に、「時間は未来から過去に流れる」という言葉があります。誰もが時間は当たり前のように過去から未来へ流れるものだと解釈していると思います。しかし実はそうではなくて、この言葉の意味は、**なりたい自分の未来を描き、それを言葉にし、描いた未来の自分になれるように今この瞬間から行動を起こすことによってそれが現実となり、自分が通ってきた道が過去のものになる、**という考え方なのだそう。

まさに「今この瞬間が未来をつくる」と捉えることで人生がどんどん前に進んでいる感覚になれるのではないだろうか？

ちなみに、苫米地英人著『頭のゴミ』を捨てれば、脳は一瞬で目覚める」は、校長先生の「この夏に読みたい本」リストの一冊でもあります。

### 知識はやがて自分を守る武器となる

ちょっと長いですが、次の件(くだり)も桜木建二のセリフです。

「お前らが何でバカなのか教えてやろうか？それはな、お前らがものを知らねえってことだ。教科書に載ってる知識のことじゃねえ。世の中の実態としくみを知らねえってことがバカなんだよ。お前ら今世界がどういう状況が分かるか？未曾有の危機だ。疫病・天災・それによる経済の麻痺。想像もしなかった事が次々と起きてる。もしかしたら、戦争だって起きるかもな。かつての常識はもう通用しない。もう何が起きたって不思議じゃねえんだ。そうなったとき、お前らが住んでいるこの国は、何が一番必要になってくるか分かるか？金だ、税金だ。国はな、お前らにはバカなままでいてほしいんだ。それが本音なんだ。何にも疑問をもち、何にも知らないまま、調べないまま、ただひたすら政府に従い働き続け、金を払い続ける国民であってほしい。それを別の言葉で言い換えると何だ？馬車馬だ。国はお前らには、ただひたすらもくもくと馬車を引く馬車馬であってほしいんだ。その方が都合がいいからな。

世の中は平等だ、国民は自由だ、差別なんかひとつもねえ、そう刷り込まれてきた。だが実際はそうじゃねえ。どんなに努力しても、どんなに力を振り絞っても、本質を見抜く力がなければ、権力者と同じ土俵にすら立てねえんだよ。

誰かのせい、国のせい、時代のせい、他人をたたき批判して、文句を言って何が変わる？ルールを作っているやつらはな、この状況がおいしいからこういう仕組みにしてるんだ。自分は関係ねえからって言ってたら、一生騙されて高いお金払わされ続けるぞ。なぜ社会はこうなったのか。誰がどんな意図でこの仕組みを作ったのか。本質を見抜き、自分なりの答えを出す力をつける。その時初めて、馬車馬は人間になれる。

そのためには勉強するしかねえんだ。勉強するのはな、この国で許された唯一の平等なんだ。」(桜木建二)

誰かのせい、国のせい、時代のせい、他人をたたき批判して、文句を言って何が変わる？…。鋭い言葉だと私は思います。

昨日(16日)、私は各学年の学年集会に参加させていただきました。2学年の集会では、庄司先生が次のような話をされていました。

「何か自分が行動を起こす時、その行動によって起こり得ることを想像してほしい。想像力を働かせてほしい。」これって、桜木建二のセリフではないですか？これができなければ、桜木建二が言う馬車馬なんだと思います。この国で唯一許された平等、勉強することによって教科書にも載っていないような知識を

身につけることで自らを守る。知識(本質を見抜く力)は、自分を守る武器になるのです。

特に高校入試を迎える3年生諸君。この夏はどうあるべきかを考えてほしい。夏を制する者は、受験を制す。決して過言でも何でもありません。

### **自分の信じる道を行け**

最後まで相変わらず「ドラゴン桜」ですが、ドラマ最終回、ラストシーンです。

「いいか、お前ら、人生で一番大事なのは、東大に行くことでも勝つことでも、結果を出すことでもねえ。お前らが目標に向かって過ごした一分一秒、自分の人生を変えようとがむしゃらに努力したその道のり、熱意、そして仲間への思い、それこそに価値がある。

お前ら、いつか俺が言った言葉を覚えてるか？クソみてえな人生を変えられるのは自分しかいない。人は誰かを変えることなんかできねえ、俺はそう言った。だがよく覚えとけ。お前らが、まっすぐな思いで突き進むとき、その姿は他の誰かを動かす原動力になる。自分を信じてまっすぐ突き進め。そうすりゃいつかその姿は、人に勇気を与え、希望を与える。お前らの熱意、努力、思いやりが、周りの人間を突き動かす。そして、それは巡り巡っていつか社会を変えていくんだ。

人生を切り開け、常識を変えろ。ここから先の未来を作っていくのは、国でも環境でもねえ。お前ら自身だ。お前らバカはもうバカじゃねえ。お前らには仲間がいる。その輪を広げていけ。」

### **「いいか、自分の信じる道を行け！！」**

2025年夏、勉強に遊びに、そしてまた勉強に、充実した夏休みを過ごし、一回りも二回りも大きくなった木二中生に再会できることを楽しみにしています。よい夏休みを！